

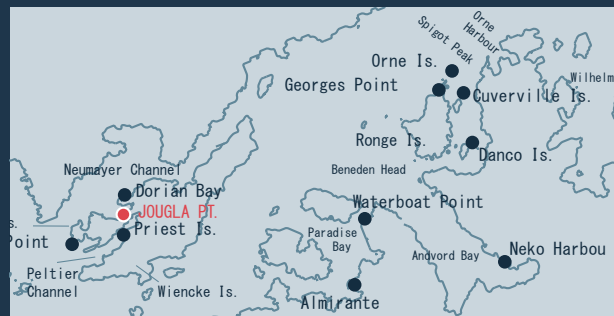


# Jougla Point

南緯64度50分 西経63度29分ーヴィンケ島西端の  
Port Lockroyに位置する

## 主な特徴

- ゼンツーペンギン
- ズグロムナジロヒメウ
- 氷河の景観
- 鯨の骨



## 概要

- 地形** Jougla Pointは、小さな入り江が入り組んだ、岩の多い半島である。冬の始めには、海氷に取り囲まれることが多い。雪庇、氷河、そして大規模で険しい、深い割れ目のある雪原が湾を覆う。
- 動物相** 繁殖が確認されている種：ゼンツーペンギン (*Pygoscelis papua*)、ズグロムナジロヒメウ (*Phalacrocorax atriceps*)、ミナミオオセグロカモメ (*Larus dominicanus*)、ナンキョクアジサシ (*Sterna vittata*)、ナンキョクオトウソクカモメ (*Catharacta spp.*)。定期的上陸：ウェッデルアザラシ (*Leptonychotes weddelli*)。
- 植生** オオロウソクゴケ、ダイダイゴケ科、スミイボゴケやその他の地衣類、緑藻類のナンキョクカワノリなどが確認されているが、広範に広がってはいない。
- その他** クジラの骨など、捕鯨漁が行われていた時代とその後の探検隊の痕跡が見られる。

## 訪問者の影響

- 既知の影響** なし。
- 潜在的影響** 野生生物への攪乱。

## 上陸要件

- 船舶\*** 乗客500名以下の船舶。1度に1隻の船舶に限る。1日あたり（午前0時から翌午前0時まで）3隻以内。
- 訪問者** 探検ガイドとリーダーを除き、常に下船は1度に100名以内。訪問者20名あたりガイド1名。所定の宿泊滞在の関係者を例外として、22時から4時（現地時間）の間は上陸できない。これは野生生物の休息時間確保のためである。

## 訪問者用地区

- 上陸地区** 第1候補は、北東部の礫岩・岩の海岸である。第2候補は、西側の海岸、あるいは東側のAlice Creekの海岸（小さなヨットには特に好適）。
- 閉鎖地区** 閉鎖区域A：コンクリートブロックの上と裏側のJougla Point北西端、ゼンツーペンギン、ズグロムナジロヒメウの営巣地区。季節初期にはブロックは目視できない場合があり、注意が必要である。閉鎖区域B：ミナミオオセグロカモメのコロニーを含む、Alice Creek南方の岩場高地斜面。
- ガイド付き徒歩地区** なし。
- 自由散策地区** 訪問者は自由散策が許されているが、厳重な監視下に限られ、また閉鎖区域は除外である。本地区の不規則な地形から、ガイドは、訪問者への十分な監視の確保はかなり困難である事を承知しておくべきである

## 訪問者の行動規範

- 陸上での行動** 南極訪問者のための一般ガイドライン（General Guidelines for Visitors to the Antarctic）に従って行動すること。
- 注意事項** クレバスや崖を含む雪と氷の一角は訓練されたガイドと適切な設備を伴って訪問すること。

採択：2006年  
最終改訂：2013年

\*：ここでいう船舶とは、12人以上の乗客を運搬する船に限る。



# Jougla Point

南緯64度50分 西経63度29分ーヴィンケ島西端の  
Port Lockroyに位置する



Jougla Point : 背景はGoudier島



閉鎖区域は北西端のコンクリートブロックの線から始まる



上陸地区 (第1候補)

